

新しい組織のつくり方を学ぼう

「ティール」で始める

のびやかな地域づくり



2/17^土

13:30-16:30

会場

静岡市番町市民活動センター
2階 大会議室

参加費 無料

定員 40人 (要申込み)

縦割りを乗り越えた、未来に向けて進化する、
新しい組織のかたちとして「ティール型組織」が提案されています。

今日は「ティール」の実践と考えを知ること、
硬直化した組織や地域を変えてのびのびと楽しい未来を
どのようにして手に入れていくかを学びます。

ゲスト

- 吉江悟さん
(ビュートゾルフ柏 看護師/保健師)
- 大村 淳さん
(トランジションタウン浜松 呼びかけ人)
- 小和田尚子さん
(母力. Pj 委員長、サポぬま)

プログラム

- 事例紹介
吉江さん・大村さん・小和田さん
- かるがも学習会メンバーの報告
<休憩>
- 座談会/質疑応答・teal (今日聞いた話) をどう生かすか・気づきの発表

進行

津富 宏さん (静岡県立大学国際関係学部 教授、NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長、
一般社団法人静岡学習支援ネットワーク 代表理事)
2017年4月末、ギリシャで「ティール」に関する一週間のワークショップに参加

ゲストの活動紹介



●吉江 悟さん

teal 型組織として注目を集めるオランダの在宅ケア組織 BUURTZORG (BZ) の名を冠した日本初のチームを 2015 年に設置し、人口数万人程度の地域を対象に訪問看護を提供している。日本の政策潮流も踏まえ、住民による通いの場を併設し（日本独自）、BZ が重視するインフォーマルネットワークの活用・開発に注力。看護職と住民ボランティア、いずれのチームマネジメントにおいても、BZ が用いているミーティングスタイルは活用し得ると感じている。

●大村 淳さん

トランジションタウンは世界規模の経済や環境、エネルギーなどの課題をローカルというサイズで時間をかけながら、グローバルとローカルの双方の解決を目指す活動で、2010 年 1 1 月より呼びかけが始まり、以来会員制度、会則などルールをもたずにコミュニティが形成されてきた。様々なミッションを生み出し実施し、展開するトップダウン型ではなく、人が繋がる場をつくり、それぞれの思いを共有し合うところから自然と変化が生まれて行く。そんなスタイルを日々試行錯誤しながら、今も持続的にコミュニティが生まれる挑戦を続けている。



●小和田 尚子さん

次世代へと続く平和を残し、誰もが笑顔で暮らし続けられる豊かな地域と未来を創るため、母力 .Pj では女性の人生の問題を、サポメまでは就労支援だけでは補えない問題について、市民が繋がり解決できるよう、沼津・三島を中心に、認知症予防、学習支援、子ども食堂、文化財保護、舞台芸術、政治活動などを行う。メンバーは常に楽しむ事を忘れずに、継続活動性や活動拡張のために自由度をもたせ固定化せず緩く繋がり組織化していない。



《お申込み・お問合せ》

静岡市番町市民活動センター
(葵区一番町 50 番地)

電話 054-273-1212 FAX 054-273-1213

メール mail@bancho-npo-center.org

ホームページ http://www.bancho-npo-center.org

— 番町市民活動センターは市民活動の仲間づくりをします —